

琵琶詩吟名匠録

日本琵琶楽協会

事務所 東京都港区西新橋一丁目

105 電話 三七八九番

薩摩正絃会

事務所 東京都港区西新橋一丁目

105 電話 三七八九番

城山会本部

事務所 東京都港区芝公園一丁目

105 電話 四一〇七番

岳城流琵琶、詩吟一誠会

事務所 東京都大田区久が原一丁目

145 電話 三三八二番

横山岳玲

事務所 札幌市南九条西三丁目

060 電話 二五〇六番

薩摩琵琶水会本部

事務所 東京都品川区西五反田

141 電話 八三三二番

前田秋声

事務所 東京都品川区西五反田

141 電話 八三三二番

蘇川流琵琶本部

事務所 横浜市西区西戸部

220 電話 二八九九番

鶴派琵琶史会本部

会主 鶴田錦史

136 電話 六四三二番

大館派琵琶洲楓会本部

会主 大館洲楓

150 電話 四〇九一番

前田洲月

事務所 東京都港区成田東

166 電話 三三三四番

錦心流大館派教授

事務所 東京都品川区西五反田

150 電話 八三三二番

大館派琵琶、詩吟

事務所 東京都品川区西五反田

150 電話 八三三二番

錦心流大館派琵琶

事務所 東京都品川区西五反田

150 電話 八三三二番

彼ノ矢洲友

事務所 東京都品川区西五反田

150 電話 八三三二番

中村洲心

事務所 東京都品川区西五反田

150 電話 八三三二番

錦心流琵琶教授

本水会 松田静水

105 電話 七〇七〇番

岳内山裕水

事務所 札幌市南三条西十二丁目

060 電話 三九三三番

古水針谷錦古

事務所 高崎市岩鼻町

370 電話 二四七四番

錦心流蓮水会

会主 三浦蓮水

662 電話 三三三四番

錦心流琵琶教授

本水会 廣瀬綴水

573 電話 三三三四番

宗家人谷錦鳳

事務所 伊東市湯川

414 電話 二四九六番

須田誠舟

事務所 東京都中央区銀座

104 電話 八五七番

空城流吟舞詩吟斗南会

宗家 村上空城

010 電話 七二五三番

薩調四絃玉山会

事務所 東京都豊島区長崎

171 電話 一八七二番

錦心流一水会中央支部

幹事長 戸谷曙水

110 電話 一八七二番

薩調琵琶、詩吟晴風会

会長 浅野晴風

164 電話 八九二二番

薩摩琵琶、齊曲会

望月岬江

125 電話 九一九三番

吟詠、吟舞

菊水流本部

125 電話 九一九三番

北陸琵琶同好会本部

会長 田中歴水

930 電話 二四七四番

錦心流琵琶、詩吟教授

本水会 田中篁水

920 電話 三三三四番

鎌倉琵琶

春山会 會我龍城

248 電話 二二二八番

錦心流琵琶

愛吟会 山田幻水

237 電話 三三三四番

錦心流琵琶教授

本水会 平野鉦水

249 電話 三三三四番

日本琵琶振興会本部

錦川鈴木密水

343 電話 二四一三番

吟詠教授、吟松会

会長 中村松聲

430 電話 七六六〇番

錦心流琵琶速水会

会長 山口速水

116 電話 九一九三番

錦心流琵琶

島田春水

141 電話 九六八八番

薩摩琵琶、澄水会

會長 友吉澄水

111 電話 二四七四番

薩摩琵琶

會長 石坂南水

332 電話 二三八三番

玄象会

弘沢雨

113 電話 一五五五番

国想高橋肆水

事務所 横浜市南区大岡町

233 電話 四六八八番

日本錦古流皆伝教師

四方田錦隆

375 電話 三三三四番

薩摩琵琶

古家絃風

124 電話 五七三九番

編集兼発行者 鈴木誉士

東京都練馬区豊玉北五ノ十一

芸の友社



琵琶特集 四月号

昭和四十六年四月一日発行

鶴田錦史名人 再度フランスへ

四月二日夜出発



(鶴田錦史師)

世界的大音楽家と光る邦楽琵琶の名人鶴田錦史師は、昨秋十月外務省派遣文化使節として欧州四ヶ国を訪問公演し、至る所で満員盛況の大人気を絶えず受けたが、今回もフランスよりの招聘で四月二日夜羽田空港発で渡仏、ロワイヤン市で開かれる世界音楽祭に出演される。鶴田師の海外公演は殆どが尺八の大家横山勝也師との合奏出演であったが、今回は単独旅行であり出演も独奏で「古典曲」(平家)にまつわるものを上演し、琵琶の真髓を充分に發揮し鑑賞に資すると。なおラジオ、テレビにも出演される。

女流紅会十周年 記念琵琶演奏会

四月十日十一時 新宿伊勢丹にて



(押田旭齋師)

東京筑前琵琶会系に在つて女流の元老であり「大政所」と敬称される名匠押田旭齋女史を主軸に、田中旭千栄、原田旭柳、原田旭湖、原田旭光、小笠原旭星、仲川旭朋、青山旭光さん等各特長を有つ有名な名花で組織された「紅会」は、発会以来公演会毎に新曲発表または奇抜な演技の上で満員の大人気を呼び、東京琵琶界の名物と謳われ、名を高めつつあるが、今回は結成以来十年で会同人の外に新鋭の前奏を加へ、新曲発表、舞踊曲の他流の水藤錦輝、若水桜松両大家の協賛、NHK鈴木健二アナの「琵琶」をつづる歴史の中の女性「物語」を社会連一同の琵琶演奏

名匠の遺徳輝き 追善会は超満員

七百の入場者と 出演名流大絵巻

東京琵琶界に於ける近世の名人と謳われ、礼節正しい情義のお師匠と芸能界に名声を博した徳澤家、輝派琵琶の宗家輝師師逝いて十年、その遺徳は未亡人立枝夫人を中心に輝水会本部を堅守し、甲府、新潟、大阪に各支部を置き、本部は吉川錦理理事長、辺見錦舟幹事長、金森錦司常任理事の首脳陣で十数名の会員が兄弟愛の友情で結束し、毎月二十二日の故師の命日を集合日として本部に於て師の霊を慰める小演奏を催し続けること十二年、実に斯界の美談と全国に知られている。同会本部のため恩師の十三月忌を迎え追善のため琵琶演奏大会を師の命日法要に先立ち三月七日正午より文京区民センター三階大ホールに於て開催された。此の日快晴なるも二、三日前より来襲の寒波強烈の上に北風強く肌を刺す今冬最高の寒さであるが、輝水会員並に立枝未亡人の社交振りの効あらわられてか開演前より来場者殺到の有様で受付は軒手古舞である。また会場舞台は墨絵の金屏風双曲を背景に祝詞の生花(贈者は鶴田錦史、大館洲楓、松田静水、福山証券会社、本郷婦人会有志等より本部へ、また吉川錦理理事長宛一個が左右に配置されて来目を惹き故師の遺徳に輝きを添えた。演奏は伊藤さんの輝水佐々木貴電さんの「背公」で開幕、金森貴弘坊やの「金剛石」。絃金森錦司氏で初舞を飾る。続いて浪江正正(常陸丸)阿部錦純(静)阿中堅組の熱演があり、「荒城の月」掛合は薄井、阿内、金森、高久、大場、金森美智子と若く美しくお嬢さん達の歌を都錦恵さんの絃でこれら初舞を飾つて人気が浴びた。輝水会山梨支部部長甲府の志田錦輝氏の「本能寺」大熱演について山崎光水、伊藤錦貴さんの真技上演あつて一水会中央支部有志の戸谷曙水、朝倉神水、内田翠水、杉本淳水四氏の掛合挨拶。宮崎洲香さんの「月下の陣」は前

田洲月師の絃で巧みな熱演で好評を受く。祝電披露のあと山口速水の巧技。更に故師芸友で九十二翁の講談界の古老服部伸師匠の「龍坂時」の講談で、実に力強い明晰な弁舌の運びには全聴衆を感激させた。吉川錦理理事長は水藤錦輝、都錦輝両名師の絃、戸室尺八で「捨児」の華やかな大舞台で見事な巧演で人気を凌った。正派の仲川秀邦、錦の都錦輝、一水会の友吉澄水三大家は各自特色ある妙技を揮つて賞讃を博した。故人の芸友で新浄瑠璃の名匠岡本文弥翁の協賛出演は「月夜の題目」の題名、岡本宮楽、せめ八両者の三味線で老技を披露され盛んな拍手で好評であつた。ご挨拶は芸の友鈴木誉士社長で、立枝未亡人、吉川理理事長、辺見幹事長と共に舞台上に立ち故師の業績と輝水会の現状を述べ、七百人の来場者の御支援と協賛出演名手諸氏へ御礼の言葉を述べ、将来も交れぬ御後援を願つて挨拶は終了。筑師の名匠田中旭齋さんの「湖水渡」の重厚的な巧演についで本部の幹部金森錦司、小沢錦弥、利田錦葉三者の掛合「夜討會我」を西山錦耕氏の絃で上演、美事な出来栄で輝水会の名声を高めた。筑前派の藤巻旭鴻師、薩調吟巻師の前田秋声師、一水会顧問の谷澤水師、錦ひわ宗家水藤錦輝師四巨頭の各独奏は、流石に当代屈指の大家としての特長を發揮し、貫録充分の至芸の牙えを示し全聴衆を魅了して余す所なく激賞を受け午後七時半終了したが、この日の盛況はここ数年に見ざる大盛況であつた。

野地洲城老慰安 鈴木善士退院祝

洲楓会有志招宴

箱根湯本吉池で

大館派琵琶の司権者名人大館洲楓師の派楓會の元老野地洲城翁が昨春來健康を害し、自宅に於て専ら静養を続けて居られるので、往年師の門下で後に大館宗家の門に入つた小田原市国府津町の名士落合洲湘氏が、去る一月新年挨拶に本部を訪問の初り野地翁をお慰めしたい意向を表現した処、大館師と同席された洲楓會本部有志が賛同し、その後野地翁と深い関係にある故友も協賛され、二月二十六日午後箱根湯本の大旅館「吉池」に於て野地洲城翁慰安會開催を決定した。隔々洲楓會とは二十年來親交の間柄にある芸の友社の鈴木善士社長が、昨年九月交通事故により入院加療中のところ二月二十五日より帰京され、熱海市網代の病院より帰京されたのを幸に退院祝としてこの席に招待し、會員一同の心を込めた祝意を表することに決した。

当日東京側よりの出席者は、大館宗家、息女美江子、平井洲誠、松崎洲陵、稲垣洲玲、山田洲鳳諸氏と來賓の鈴木善士、同善美子の一行が十二時半新宿発の小田急ロマンスカーで箱根へ。小田原側は落合洲湘、神戸洲岳、若林洲雨の諸氏に主賓野地洲城翁が出席され、親しい挨拶やら久闊の挨拶で和氣藪々の情景を現出した。琵琶に、

洲楓会有志の招宴記念



歓談に、温泉入浴に敷時間を過して祝宴は六時に別席で開かれ、席定まるや落合氏より野地翁慰安の御挨拶と鈴木社長の退院に対しお慶びの言葉を述べられて祝杯を挙げた。これに対し鈴木社長より感激の御礼御挨拶あつて献酬が交され六十年來活躍されて名声を馳せた野地翁の琵琶への功績を讃える談話が次から次へと尽きない。大館宗家の芸談や、野地翁の人情美談等一同を感激さすものが多く、かくて一同は一泊し翌日記念写真を撮つて十一時解散し帰途についた。この会合に出席を予定さ

れていた本部幹事長桑名洲聖氏と元老格の前田洲月女史は止むなき事情のため欠席されたのは遺憾であつた。因に吉池旅館は天下の富豪三菱王国の岩崎氏の別荘で、旅館敷地のみで一万数千坪、背景山林を加へると約十萬坪あるという。庭内に八ツの池があり無数の鯉を放養し庭園の雄大さと見事さは美に稀れである。また写真に於ける夏をここの皇后陛下が御成婚前の夏をここのお過しになられた由緒ある建物で、広い庭と大池を見おろした閑静な建築美を極めて居る。

写真説明

(記事参照)
(前列) 向つて右より大館美江子、大館洲楓宗家、野地洲城、鈴木善士。(中列) 山田洲鳳、松崎洲陵、左端は神戸洲岳。(後列) 若林洲雨、稲垣洲玲、平井洲誠、鈴木善美子、落合洲湘の各氏である。(大池畔で)

NHK、FM放送で 琵琶名流五氏出演

NHK、FM放送のステレオ邦楽鑑賞、三月二十三日午後七時よりの風物詩「瀬戸の瀾潮」一軒屋正邦、鶴田錦史共作曲が放送された。作中の琵琶は教盛、屋島、環の浦の三曲で何れも平家由緒の曲であつた。出演されたのは鶴田錦史宗家、錦心流の友吉澄水、石坂南水、山口連水、筑前派の原島旭粧さんの五大家で、よく呼吸の合った円熟の妙技で好評を受けた。

愛読者へお願い

陽春の好季と相成りました。愛読者皆様の御健康と御奮闘を祝福申し上げます。多数のご愛読者の内には本紙の会費(購読料)また御氏名掲載の広告料に就て失念の爲か未払いの方がありますので整理に支障を生じますから至急お払込み下さる様お願い申し上げます。

芸の友社会計部

故輝錦凌宗家 十三回忌法会

近世の琵琶と称えられた名人輝派宗家故輝錦凌師の十三回忌法会は、未亡人立枝女史が施主となり三月二十一日(彼岸中日)午後青山墓地の故師靈域の墓前参拝で御冥福を祈し、更に引続き参列者一同を文京区本郷の香風寮に於ける供養清宴に招じ、故師懐旧談に花を咲かせ生前中を偲ばれた。

錦城會本部の 電話番号が変更

筑前琵琶の各名で、詩吟朗詠錦城流宗家であり錦城會本部である東京都世田谷区代田三丁目五ノ一六山元旭錦(錦城)師宅の電話は、今回番号が三月一日から左の通り変更になりました。
◆新番号〇三三四一三三七二二(代表) 七二三番。

入谷宗家夫人病床

静岡県伊東市の有力名士で、錦流琵琶宗家で吟詠の指導者、川柳の師範として有名な入谷錦鳳師の夫人は、二月十七日突如脳溢血症に襲われ静養中であるが、目下の処病勢の山場を越し安静中と。

地方名手上京

◆樋口榮水氏 新潟市琵琶界の大家医院長の樋口榮水氏は、三月七日故輝錦凌師十三回忌追善琵琶會へ出演のため上京された
◆長谷川錦侯氏 輝水會山梨県支部の副支部長である長谷川氏も志田氏と同行上京された。
◆志田錦輝氏 輝水會山梨県支部長である甲府市の志田錦輝氏は、三月七日故輝錦凌師十三回忌追善琵琶會へ出演のため上京された
◆近藤氏令嬢 輝水會山梨県支部幹事長近藤秋秋氏令嬢は、父の代理として支部長と同行上京参會す

四の絃

寒苦に耐えて清整な花を咲かせた梅は春に魁けて多くの雅客を惹き寄せ薬用としての実を結びませ々の幸福に役立つ。今や蕾を破らんとする桜花は花の王と云われ花期短かく散り際が美しいので日本の花と鑑賞される。▲梅のような人々に益する実結ばない▲人は一代名は末代と諺がある通り、後世へは悪名より美名を残したいのが万人の望む所である。▲博愛の精神で常に社会のために尽力し善根を心掛ければ徳自然と備わり美名が揚る▲花の三月というが花の季節は音楽の適期でこれからは各種演奏会が催される。▲春の先陣を張つた筑前派の藤巻旭鴻會、錦心派輝水會の輝師十三回忌琵琶祭は共に盛況▲引続く東京橋會再建第一回の会、清吟會の山口錦堂師追善會も人気好調と見られる▲陽春四月に爛漫の花を咲かせる紅会十周年記念大会が

愛好家期待の的であろう▲芸の友泉病院より退院し半年振り東京の自宅へ帰つた▲この退院を逸早く祝つて大館洲楓會本部有志が二十六日箱根吉池旅館へ鈴木善士社長も全く感激そのもの▲旭鴻會輝水會と二つの会での各流派の弾奏名手や知人幾百人の人々より奇蹟的全快を祝された御挨拶を受け嬉し涙に咽ぶ▲それに加えて多くの方より全快祝を寄贈されるので感激一しお、多くの善意に只々頭が下るのみと感謝々々。

三鷹市芸能の明星

加藤錦陽春の会

五月九日に開く

東京都三鷹市に於ける芸能界の名物男で、邦楽協会の役員であり錦心流琵琶の人氣名手である加藤錦陽氏は、市民慰安の恒例の春の

錦城會全国大会

五月名古屋で

近年の吟詠界に驚異的な発展を見せて同好の注視を浴びている山元錦城師宗家の錦城會は、昨年宗家の郷里鹿兒島に米國詩吟一行の鈴木善士が二月二十五日に温

を迎えての全国大会を開催し、超満員の盛況で故郷に錦を飾られたが、四十六年度の全国大会は、五月始めに芸どころ名古屋に於て行われるので準備中である。

鶴田錦史師が 文部大臣賞受賞

邦楽琵琶芸術の真髄を欧米各国にまで認識させて世界最高峯の巨匠と名声輝く鶴田宗家鶴田錦史師は、四十五年度の業績が芸術選奨と推薦され、文部大臣賞を授与される事に決り三月二十日発表され同二十六日虎の門教育會館ホールへ御申込み下さい。

愛国百人一首の レコードが完成

天皇陛下には本年御齡七十歳をお迎えになられます。これを記念してテイナレコードは愛国和歌百選のレコード製作を企画、錦城流宗家山元錦城師を始め、師範級二十四名にて吹込みが完成し只今全国で発売中である。売価二枚一組二千四百円。レコードは東京世田谷区代田三丁目の錦城會本部にもありますので御希望者は同本部へ御申込み下さい。

時 昭和四十六年 五月九日(正午開演)
所 三鷹市 市民會館
予 告
加藤錦陽琵琶演奏大会
協 賛 三鷹市教育委員會
後 援 晴風會、錦一門會

日時 四月十日十一時開演
会場 新宿 伊勢丹ホール

紅会十周年記念演奏會

協賛出演 水藤錦稜 若水櫻松 主催 筑前琵琶紅会

花名人名同人會



(写真) 右より田中旭千栄、原田旭柳、原島旭粧、左より仲川旭朋、原旭潮、小笠原旭星の皆さん

